

斐太遺跡 (妙高市)

斐太遺跡は、弥生時代後期後半(3世紀、今から約1800年前)に存在した集落遺跡/弥生時代後期の集落遺跡としては東北日本最大規模を誇り、「百両山地区」、「上ノ平・矢代山A地区」、「矢代山B地区」という3つのまとまりとして捉えられている

国指定史跡

斐太遺跡群 斐太遺跡

- 昭和52年7月16日指定
平成17年3月2日追加指定
平成20年7月28日名称変更
- 妙高市大字宮内・雪森



斐太遺跡群斐太遺跡は、西暦3世紀前後(今から約1800年前)の弥生時代の終わり頃に栄えた東日本最大級の高地性の環壕集落跡です。面積は10万m²を越え、大きく3つの居住区に分けられます。この遺跡は、通常地中に完全に埋没している竪穴建物跡や環壕跡が浅い窪みのまま確認することのできる全国的に珍しい遺跡です。現在、少なくとも130箇所の竪穴建物跡が確認でき、集落の周りに巡らされた防御用の空壕は総延長が900mにもおよびます。こうした規模や内容から、斐太遺跡は卑弥呼が登場する「倭国大乱」の時代を経験した守りのムラ(拠点集落)であったと考えられています。

平成21年7月 妙高市教育委員会



斐太遺跡群 遠景(蛟ヶ尾城跡山頂より)

弥生時代から古墳時代にかけての当地域の動向を考える上で欠くことのできない一連の遺跡群として、上越市の吹上遺跡と釜蓋遺跡が斐太遺跡に追加指定され、名称が「斐太遺跡群」となりました。



竪穴建物跡(東京大学調査)



出土土器



戦火に備えた山城のような集落/後世の人為的な破壊を免れ、腐葉土が堆積しにくいという特殊な気候風土によって、大規模な環壕(集落を囲う防御用の空壕)の跡など、約1800年前の弥生時代の遺構を半埋没状態で肉眼観察することができるらしい



ここからが「上ノ平・矢代山A地区」

 [video](#)



クマさんは森に帰って～！

[video](#)



右手に石碑や竪穴式住居が見える/この前方に案内所があるようだ





史跡

斐太遺跡群 斐太遺跡



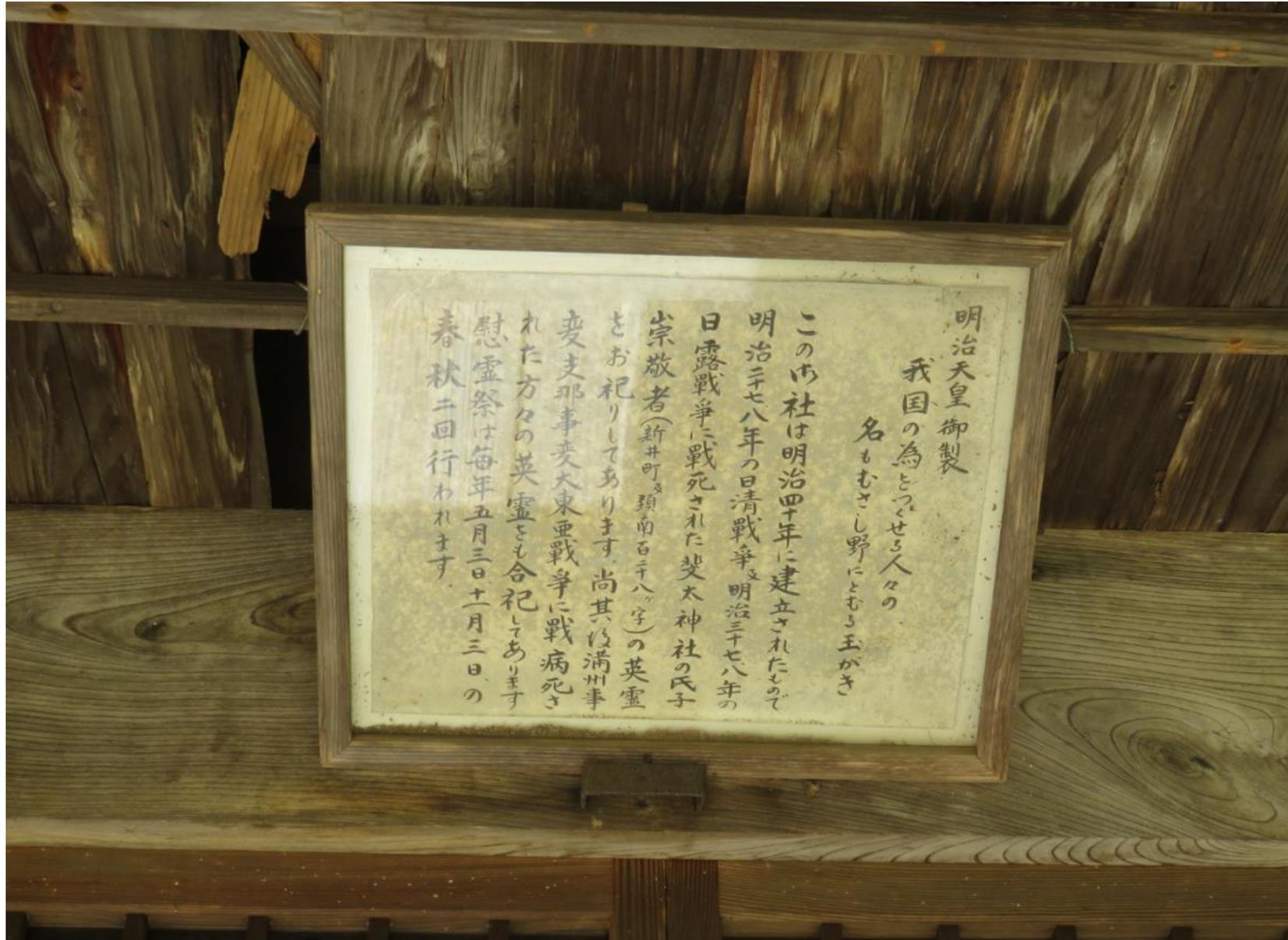
平成21年制作
竪穴式住居
歴史文化博物館

右手に進むと、小社があった





各戦争の英霊を祀った神社ということか・・・



明治天皇御製

我國の為とつとせよ人々の

名もむさし野にとむる玉がき

この神社は明治四十年に建立されたもので
明治三十七八年の日清戦争と明治三十七八年の
日露戦争に戦死された斐太神社の氏子
崇敬者(新井町^三頭南百十^八字)の英霊
をお祀りしてあります尚其後滿州事
変支那事変大東亞戦争に戦病死さ
れた方々の英霊をも合祀してあります
慰霊祭は毎年五月三日十月三日の
春秋二回行われます

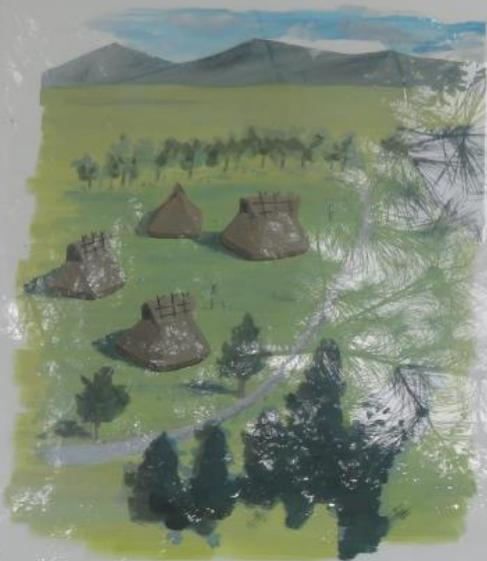
その奥に進むと、このような「溝」があった/これが環濠跡のようだ

[video](#)



環壕

弥生時代の中頃から、古墳時代のはじめにかけて営まれた集落のなかには、集落全体を囲むように深い溝が巡っている場合があります。当時は、戦がしきりに行われており、敵から集落を防御するために掘られたものと考えられています。地表面よりも約1m深く掘られています。



こんな塩梅



その更に奥には竪穴住居跡があった

[video](#)



竪穴住居

竪穴住居は、地面を掘りくぼめて柱をたて、屋根は茅やわらを葺いてつくりました。当時の人々も豪雪を克服しながら、この場所に生活を営んでいました。



ここが案内所/斐太遺跡や蛟ヶ尾城跡のビジターセンター

 [video](#)



遺物の大半は弥生時代後期後半～終末期(3世紀初頭から中頃)にかけての30年～50年くらいの短期間で使用されたものなので、極めて短期間で忽然と姿を消した、列島規模の軍事的緊張が高まった一時期だけの拠点集落だったのではないかと考えられているらしい



高地性集落であるのが見て取れる/背後には、中世の時代の鯨ヶ尾城跡がある

斐太歴史の里 案内図



鯨ヶ尾城跡からの眺望



浅い窪みの竪穴建物跡



カタクリの群生



淡水魚の池



古代住居の丘



湿性植物の沢



ササユリ



ギフチョウ



観音平古墳群



ここを進むと、その鮫ヶ尾城跡に行けるようだが、森のクマさんに会わないよう退散

[video](#)



さて、ここは斐太遺跡とともに斐太遺跡群を構成する釜蓋遺跡のエリア

 [video](#)



「史跡 斐太遺跡群 釜蓋遺跡」と記された標柱が立っている/斐太遺跡群は、弥生時代から古墳時代の高田平野南部の丘陵地から平野部にあった3遺跡（斐太遺跡・釜蓋遺跡・吹上遺跡）から成り立ち、釜蓋遺跡は弥生時代の終わりから古墳時代はじめの交易の拠点であった大規模な環濠集落、そして吹上遺跡は大規模な玉作り工房を持つ弥生時代中期から古墳時代前期の遺跡と云う



扇状地で水田耕作に適しており、日本海側と中央高地(長野方面)を結ぶ交点でもあり、地域間交流の拠点であった

 [video](#)



さて、ここは斐太神社/平安初期の大同2年(西暦807年)創建と伝わる

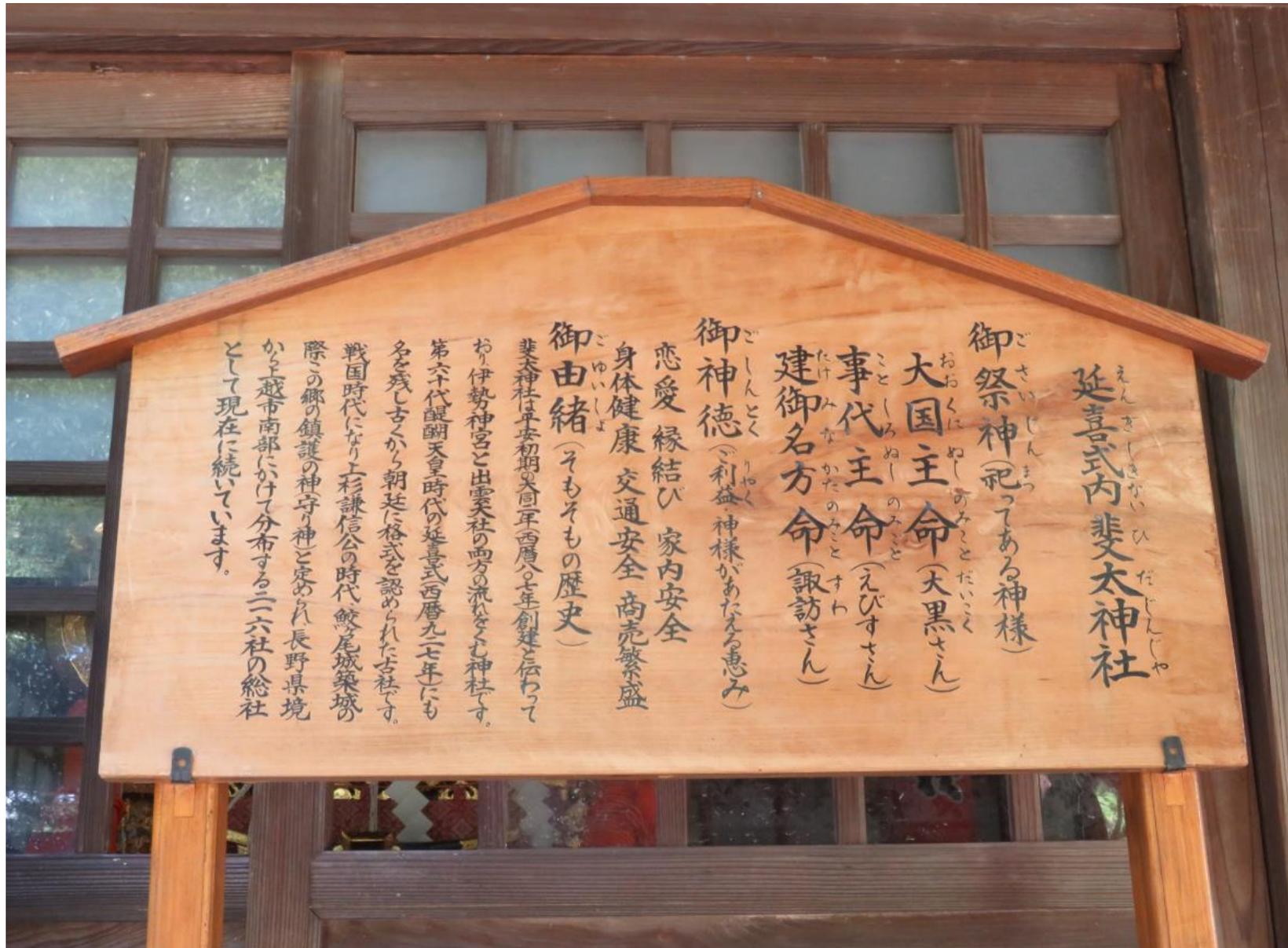




前方が社殿







正面が拝殿、左奥は本殿/中世には、上杉謙信の尊信が厚く、発展したと云う

[video](#)



こちらは境内社の雁田神社



参考ホームページ

<https://www.city.myoko.niigata.jp/docs/689.html>

<https://www.city.ioetsu.niigata.jp/site/cultural-property/cultural-property-ipn007.html>

<http://ktmrj15.webcrow.jp/p15eg/tpx1505252hida7.htm>

https://genbu.net/data/etigo/hida_title.htm

